

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

岡山県地方独立行政法人岡山県精神科医療センター 地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	精神科病院	精神病院	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	2	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	17,880	非該当	13:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

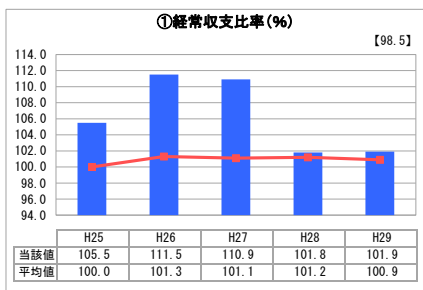
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
252	-	252
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
-	-	-

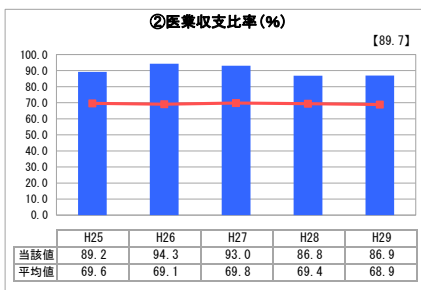
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

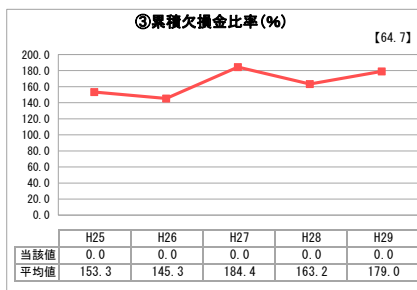
## 1. 経営の健全性・効率性



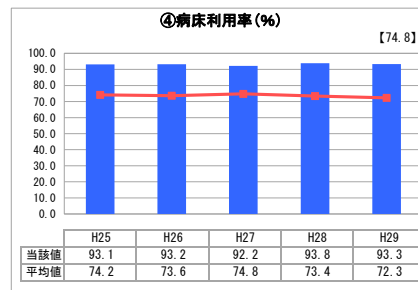
「経常損益」



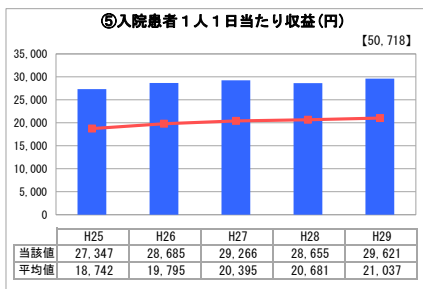
「医業損益」



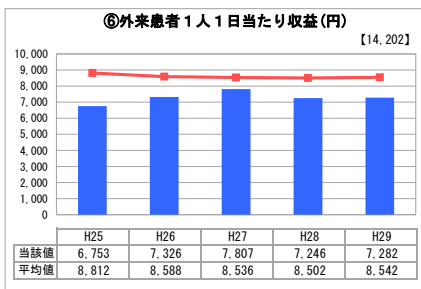
「累積欠損」



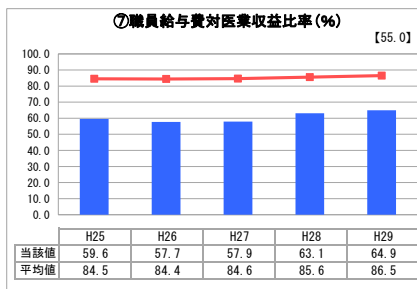
「施設の効率性」



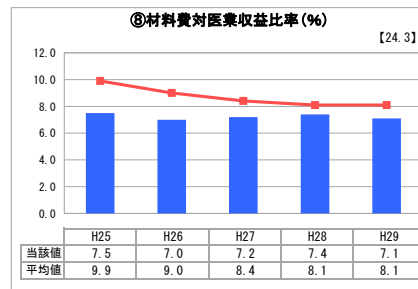
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

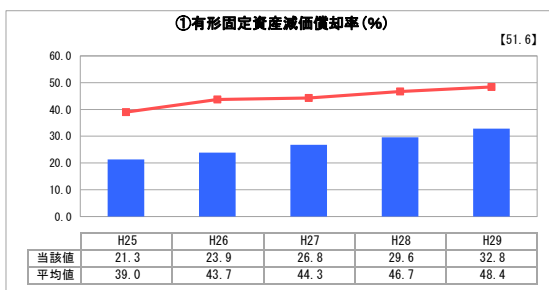


「費用の効率性①」

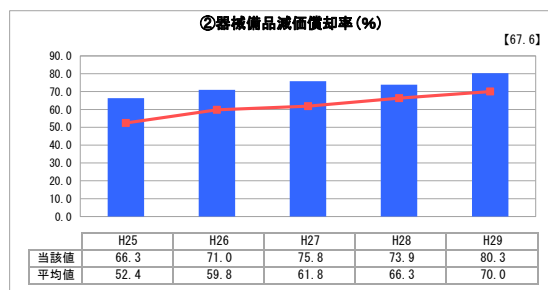


「費用の効率性②」

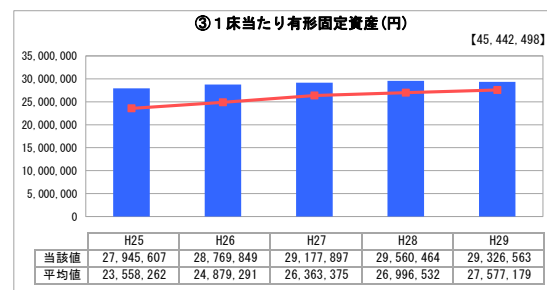
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

精神科救急医療において県内で中心的な役割を担っているほか、医療従事者の手厚い配置が必要である児童・思春期精神科医療、高い専門性が求められる薬物依存症治療等、民間では対応が困難であるケースに対応するほか、公的病院に限って指定される司法精神入院棟の運営など公的機関としての役割を果たしながら、県内精神科医療の中核病院として医療の質向上を図っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は平成27年度以前の水準と比較して低いものの100%を超えており、② 医業収支比率も高いことから、財務状況は健全である。④ 病床利用率が高く施設を有効に活用できていることや、入院患者は急性期が中心のため⑤ 入院患者1人1日あたり収益が類似病院平均値と比較し非常に高いことも要因と考えられる。また、⑦ 職員給与費対医業収益比率や⑧ 材料費対医業収益比率も低く効率的な経営が行われている。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率が類似団体平均値と比較して低いが、これは平成15年に病棟を改築（一部18、19年改築）しており比較的建物が新しいことが要因と考えられる。また、② 器械備品減価償却率は徐々に高まっていることから、設備の老朽化が進んできていることが考えられる。

### 全体総括

経常収支比率は100%を超えており、医業収支比率も高いことから、財務状況は健全であり、安定した病院経営が行われている。引き続き、県内の中核病院としての役割を果たしながら、効率的な運営を行うとともに、医療器械備品等の計画的な更新を進めていく必要がある。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。